



Omada Agileスイッチ セールスガイド

2025

目次

01 Agileスイッチの概要

1.1 Agileスイッチの魅力

1.2 製品マトリクス

1.3 主な特徴

02 Agileスイッチの使用シナリオ

2.1 監視（CCTV）

2.2 小規模オフィス/中小規模ビジネス

1.1 Agileスイッチの魅力

Agileシリーズスイッチが、強力なクラウド管理ソリューションへのアップグレードをサポートします。効率的なセットアップ・リモート監視・迅速なトラブルシューティングを低コストで実現。監視ネットワーク向けの機能が充実しており、最適なパフォーマンスと信頼性を確保するためのVLAN・QoS・ループ防止・フロー制御といった手軽に設定できる必須機能を備えています。

01 ビジネスにおすすめ

中小規模のビジネス&監視システムの展開には、それぞれ独自のネットワーク要件があります。また、高度なセキュリティプロトコルや、限られたスペース内に多数のポートの構成といったエンタープライズレベルの複雑さやコストは求められていません。実際、過度に複雑なスイッチでは、機器の購入コストや導入・メンテナンスの困難さが増し、あらゆる面での負担が増えることとなります。

Agileスイッチは効率的な機能セットとシンプルで使いやすいインターフェースを備えており、そのようなシナリオに最適です。

03 あらゆる規模に対応する包括的なポートフォリオ

Agileシリーズでは、5/6/10/20/28ポートギガビットPoEスイッチ・5/8/16/24ポートギガビットスイッチ（PoE非対応）・マルチギガビットスイッチ等、多様なラインナップを展開。Slerやエンドユーザーは、Agileスイッチを活用して様々な規模のL2ネットワークを構築・展開することができます。

02 ビジネス&監視システムに特化

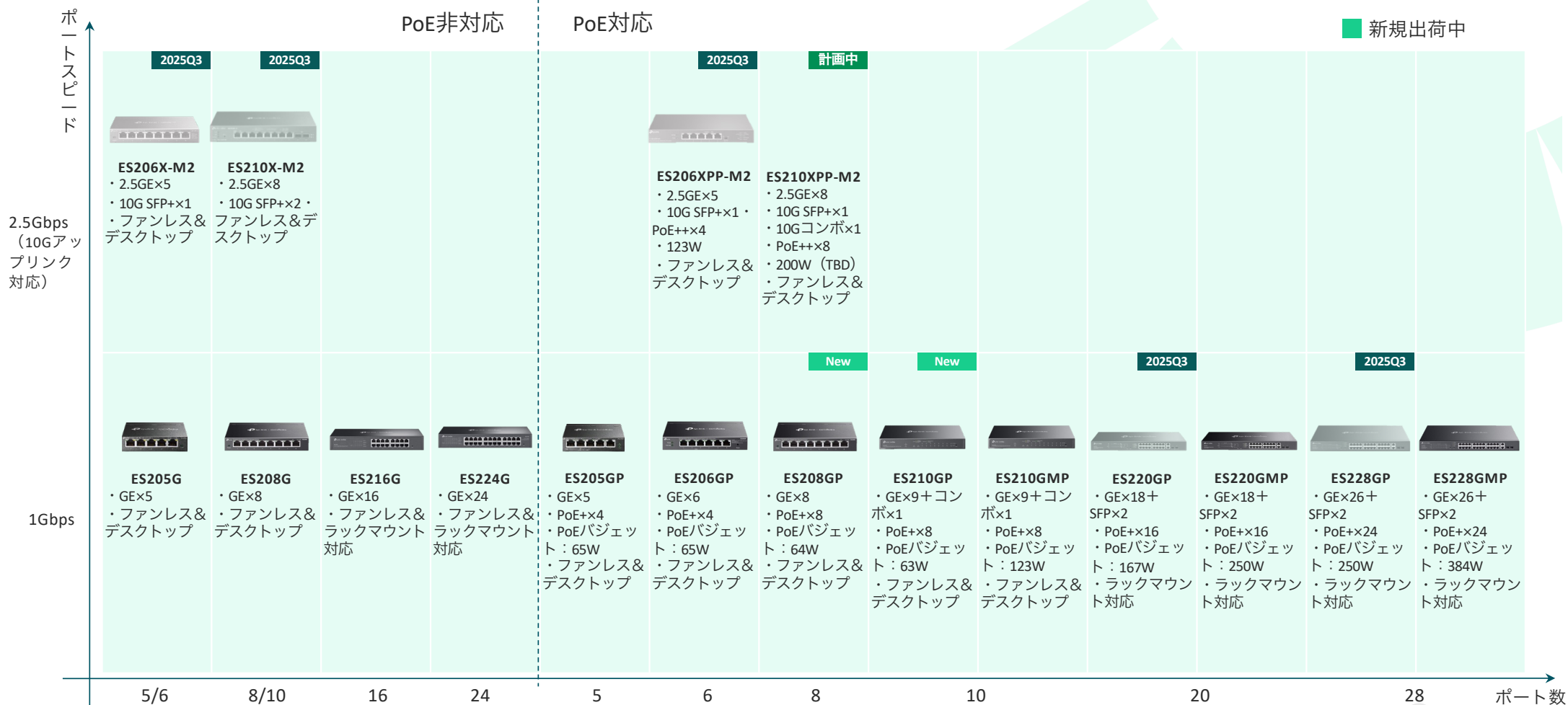
Agileスイッチは、中小規模ビジネスや監視システムの展開に不可欠なソフトウェア機能に特化しています。セキュリティを強化するポート分離・トラフィックに優先順位を付ける高度なQoS・応答のないカメラやAPを自動で再起動させるPoEオートリカバリー等の重要な機能を備えており、全てのスイッチを**Omada Central Essentials（無償クラウド）**から集中管理できるため、一元化された直感的な管理を実現できます。

04 低コスト








Agileスイッチなら、初期導入時だけでなく、ネットワークのライフサイクル全体に渡って大幅なコストカットが可能です。費用対効果の高いハードウェア・迅速な展開・長期的なメンテナンスやトラブルシューティングの簡素化等、**Omada Central Essentials（無償クラウド）**による集中管理によって、あらゆる面で費用を抑えることができます。

1.2 製品マトリクス

- 開発中
- 計画中
- 新規出荷中






1.2 製品マトリクス - ギガビット (5~10ポート)

								
モデル		ES205G	ES208G	ES205GP	ES206GP	ES208GP	ES210GP	ES210GMP
ハードウェア	RJ45ポート	5	8	5 (ポート1~4 : PoE+)	6 (ポート1~4 : PoE+)	8 (ポート1~8 : PoE+)	9 (ポート1~8 : PoE+)	9 (ポート1~8 : PoE+)
	SFPスロット	-	-	-	-	-	-	-
	RJ45/SFPコンボポート	-	-	-	-	-	1	1
	給電	5VDC/0.6A	5VDC/0.6A	53.5VDC/1.31A	53.5VDC/1.31A	53.5VDC/1.31A	53.5VDC/1.31A	53.5VDC/2.43A
	ファンレス	√	√	√	√	√	√	√
	寸法 (W×D×H)	100×98×25 mm	158 × 101 × 25 mm	99.8×98×25 mm	158 × 101 × 25 mm	158 × 101 × 25 mm	209 × 126 × 26 mm	209 × 126 × 26 mm
	設置	デスクトップ/壁面取り付け						
	スイッチング容量 (Gbps)	10	16	10	12	16	20	20
転送レート (Mpps)	7.4	11.9	7.4	8.93	11.9	14.9	14.9	
PoE	PoE規格	-	-	802.3af/at	802.3af/at	802.3af/at	802.3af/at	802.3af/at
	PoEポート	-	-	1~4	1~4	1~8	1~8	1~8
	PoEパワーバジェット	-	-	65W	65W	64W	63W	123W
	PoEオートリカバリー	-	-	√	√	√	√	√
ソフトウェア機能	IGMPスヌーピング	V1/V2/V3						
	ループバック検知	√						
	802.1Q VLAN	√						
	QoS	ポート/802.1p/DSCP QoS						
	その他	レート制限・ポート分離・ポートミラリング・静的リンクアグリゲーション・ストーム制御						
システム管理	コントローラーモード	Omadaクラウドベース/ソフトウェア/ハードウェアコントローラー・Omada Central Essentials・Omadaアプリ・自動デバイス検出・一括設定・ファームウェアの一括アップデート・ネットワーク監視・統一設定・再起動スケジュール						
	スタンドアロンモード	√						
備考	出荷中	出荷中	出荷中	出荷中	新規出荷中	新規出荷中	出荷中	

1.2 製品マトリクス - ギガビット（16～28ポート）

							
モデル		ES216G	ES224G	ES220GP	ES220GMP	ES228GP	ES228GMP
ハードウェア	RJ45ポート	16	24	18 (ポート1～16 : PoE+)	18 (ポート1～16 : PoE+)	26 (ポート1～24 : PoE+)	26 (ポート1～24 : PoE+)
	SFPスロット	-	-	2	2	2	2
	RJ45/SFPコンボポート	-	-	-	-	-	-
	給電	100-240V AC	100-240V AC	100-240V AC	100-240V AC	100-240V AC	100-240V AC
	ファンレス	√	√	√	固定ファン	固定ファン	固定ファン
	寸法 (W×D×H)	294 × 140 × 44mm	294 × 140 × 44mm	294 × 180 × 44 mm	440 × 180 × 44 mm	440 × 180 × 44 mm	440 × 330 × 44 mm
	設置	ラックマウント対応					
	スイッチング容量 (Gbps)	32	48	40	40	56	56
	転送レート (Mpps)	23.8	35.7	29.8	29.8	41.7	41.7
PoE	PoE規格	-	-	802.3af/at	802.3af/at	802.3af/at	802.3af/at
	PoEポート	-	-	16	16	24	24
	PoEパワーバジェット	-	-	150W (TBD)	250W	250W (TBD)	384W
	PoEオートリカバリー	-	-	√	√	√	√
ソフトウェア機能	IGMPスヌーピング	V1/V2/V3					
	ループバック検知	√					
	802.1Q VLAN	√					
	QoS	ポート/802.1p/DSCP QoS					
	その他	レート制限・ポート分離・ポートミラリング・静的リンクアグリゲーション・ストーム制御					
システム管理	コントローラーモード	Omadaクラウドベース/ソフトウェア/ハードウェアコントローラー・Omada Central Essentials・Omadaアプリ・自動デバイス検出・一括設定・ファームウェアの一括アップデート・ネットワーク監視・統一設定・再起動スケジュール					
	スタンドアロンモード	√					
備考	出荷中	出荷中	開発中 (2025Q3)	出荷中	開発中 (2025Q3)	出荷中	

1.2 製品マトリクス – マルチギガビット

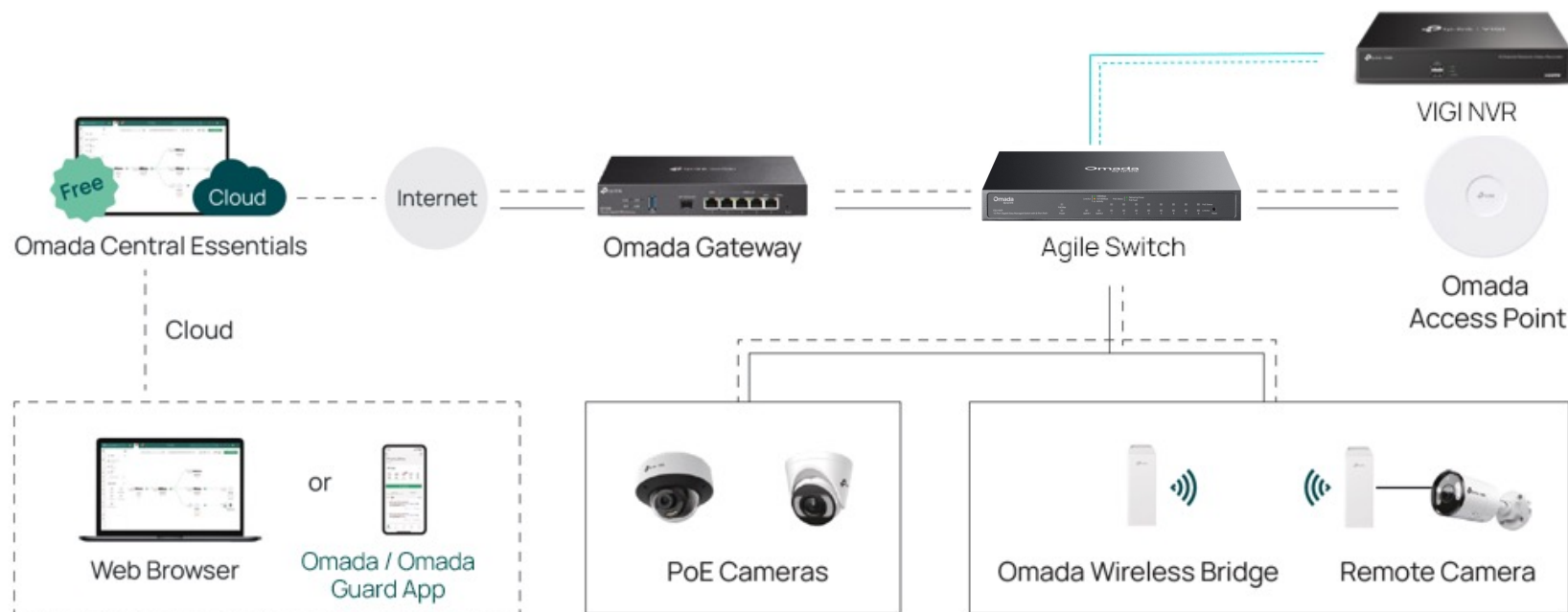
					
モデル		ES206X-M2	ES210X-M2	ES206XPP-M2	ES210XPP-M2
ハードウェア	2.5G RJ45ポート	5	8	5 (ポート1~4 : PoE++)	8 (ポート1~8 : PoE++)
	10G SFP+スロット	1	2	1	10G SFP+×1 10G RJ45/SFP+コンボ×1
	給電	12VDC/1A	12VDC/1.5A	53.5VDC/2.43A	TBD
	ファンレス	√	√	√	√
	寸法 (W×D×H)	158 x 101 x 25 mm	209 x 126 x 26 mm	209 x 126 x 26 mm	226 x 131 x 35 mm
	設置	デスクトップ/壁面取り付け			
	スイッチング容量 (Gbps)	45	80	45	45
	転送レート (Mpps)	33.48	59.52	33.48	33.48
PoE	PoE規格	-	-	802.3af/at/bt	802.3af/at/bt
	PoEポート	-	-	4	8
	PoEパワーバジェット	-	-	120W	200W (TBD)
	PoEオートリカバリー	-	-	√	√
ソフトウェア機能	IGMPスヌーピング	V1/V2/V3			
	ループバック検知	√			
	802.1Q VLAN	√			
	QoS	ポート/802.1p/DSCP QoS			
	その他	レート制限・ポート分離・ポートミラリング・静的リンクアグリゲーション・ストーム制御			
システム管理	コントローラーモード	Omadaクラウドベース/ソフトウェア/ハードウェアコントローラー・Omada Central Essentials・Omadaアプリ・自動デバイス検出・一括設定・ファームウェアの 一括アップデート・ネットワーク監視・統一設定・再起動スケジュール			
	スタンドアロンモード	√			
備考		開発中 (2025Q3)	開発中 (2025Q3)	開発中 (2025Q3)	計画中

1.3.1 主な特徴1 – Omada Central Essentials –

手軽に使える無償版クラウドベースネットワーク&監視システム一元管理プラットフォーム

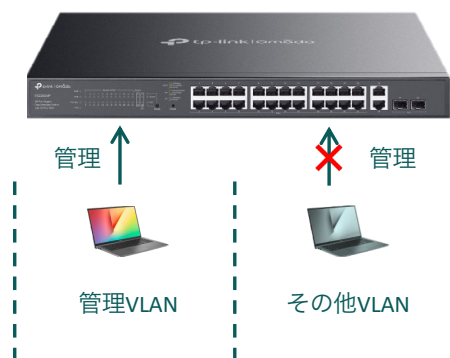
Omada Central Essentialsは、Omada Cloud Essentialsからアップグレードした無償のクラウドベース管理プラットフォームです。アクセスポイント・スイッチ・ルーター・カメラ・NVR・ソーラー給電システム等で構成されたOmadaネットワークおよびVIGI監視システムの一元管理とモニタリングを実現します。

[Omada Central Essentialsの詳細はこちら>](#)



1.3.2 主な特徴2 – セキュリティ

管理VLAN



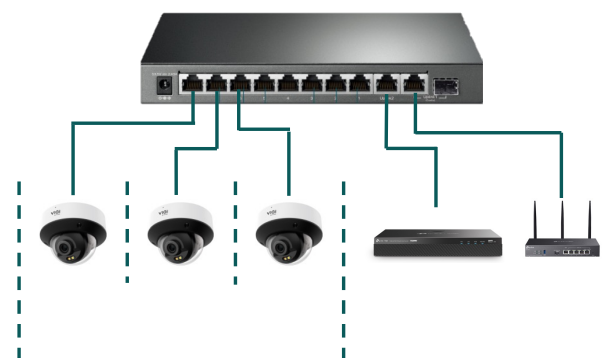
管理ネットワークをデータネットワークから分離することで、ハッキングのリスクを軽減できます。

監視VLAN



IPカメラを接続しているポートにワンクリックでVLANを割り当て、ポート分離・フロー制御・QoSを同時に有効にすることで、より高いセキュリティとスムーズな動画ストリーミングを実現できます。*

ポート分離



ダウンリンクポートのトラフィックを手軽に分割してスヌーピングやタンパリングを回避し、ブロードキャストストームを分離することで、セキュリティとパフォーマンスを向上させることができます。

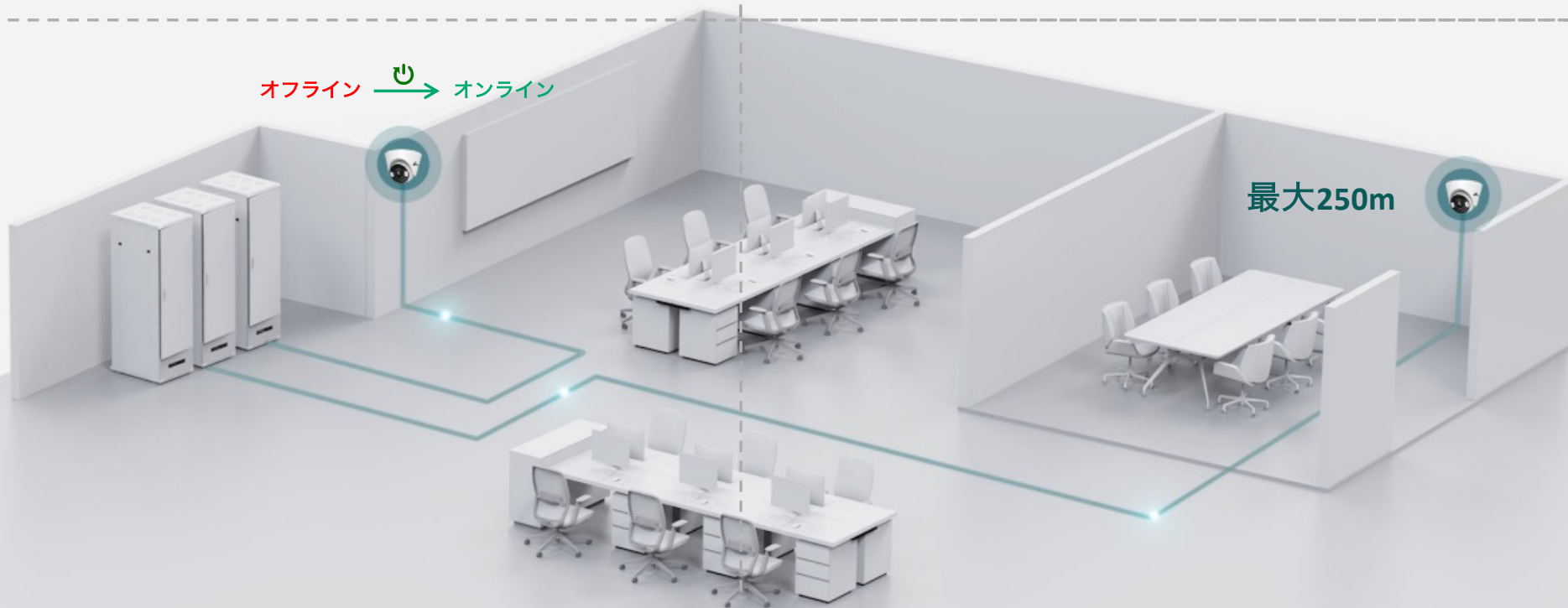
*2025 Q4対応予定

Omada
by tp-link

1.3.3 主な特徴3 – 監視機能

PoEオートリカバリー - 手軽なOAM

Extend（拡張）モード - 広範囲のデータ伝送

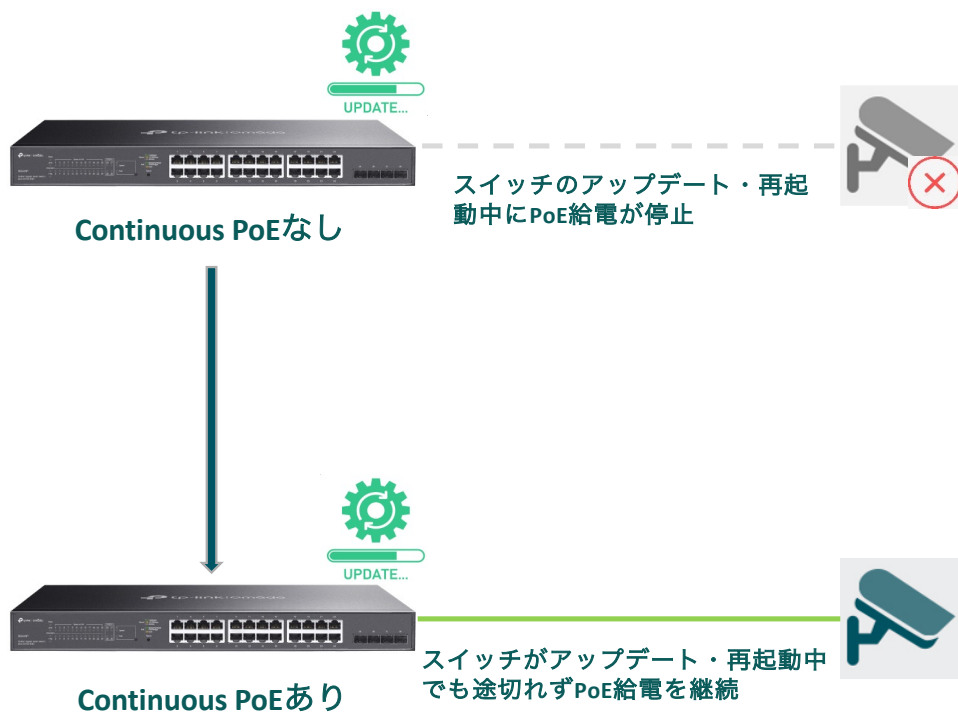


カメラのデータスヌーピング・タンパリング・ブロードキャストストームを最小限に抑えることが可能です。手動による監視や再起動が不要となり、メンテナンスコストを抑えられるため、離れた場所にあるデバイス等の管理に重要な機能となります。

最大250mのPoE伝送に対応し、広範囲でのIPカメラの展開に最適です。

1.3.4 主な特徴4 – Continuous PoE

Continuous PoE - 継続的な稼働を実現



- ✓ Continuous PoEなら、スイッチのアップデート・再起動中でもカメラやPD（受電機器）への給電を止めることなく継続させることが可能です。

* 一部モデルのみで対応している機能です

1.3.5 主な特徴5 – トラフィック最適化

IGMPスヌーピング – マルチキャスト最適化



マルチメディア・トラフィック配信を最適化することで、IPTV等のアプリケーションを快適に利用できるようになります。

QoS - 遅延軽減



QoS (Quality of service) をベースにトラフィックの優先順位付けをし、音声や動画等、遅延に敏感なアプリケーションをスムーズに保ちます。

目次

01 Agileスイッチの概要

1.1 Agileスイッチの魅力

1.2 製品マトリクス

1.3 主な特徴

02 Agileスイッチの使用シナリオ

2.1 監視（CCTV）

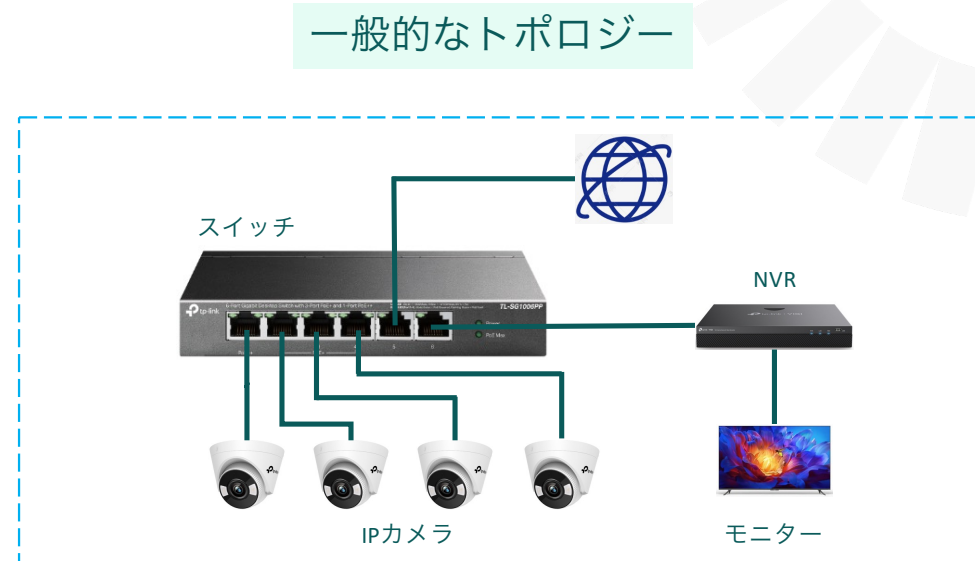
2.2 小規模オフィス/中小規模ビジネス



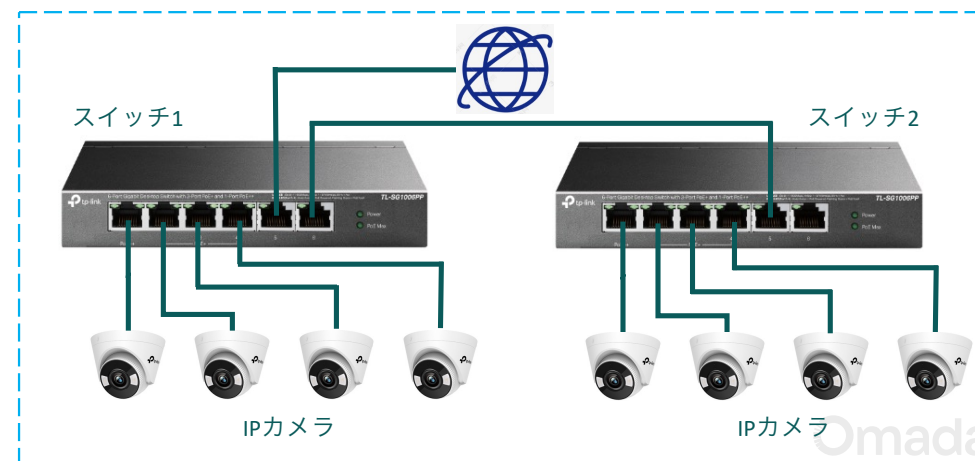
2.1 監視 (CCTV)

✓ 監視シナリオ (CCTV) によっては2つのアップリンクポートが必要になります

- 片方のアップリンクポートと上位のデバイスを接続
- もう一方のアップリンクポートとNVRを接続
- ダウンリンクポート×4とIPカメラを接続



- 片方のアップリンクポートと上位のデバイスを接続
- もう一方のアップリンクポートとカスケードスイッチのアップリンクを接続
- ダウンリンクポート×4とIPカメラを接続

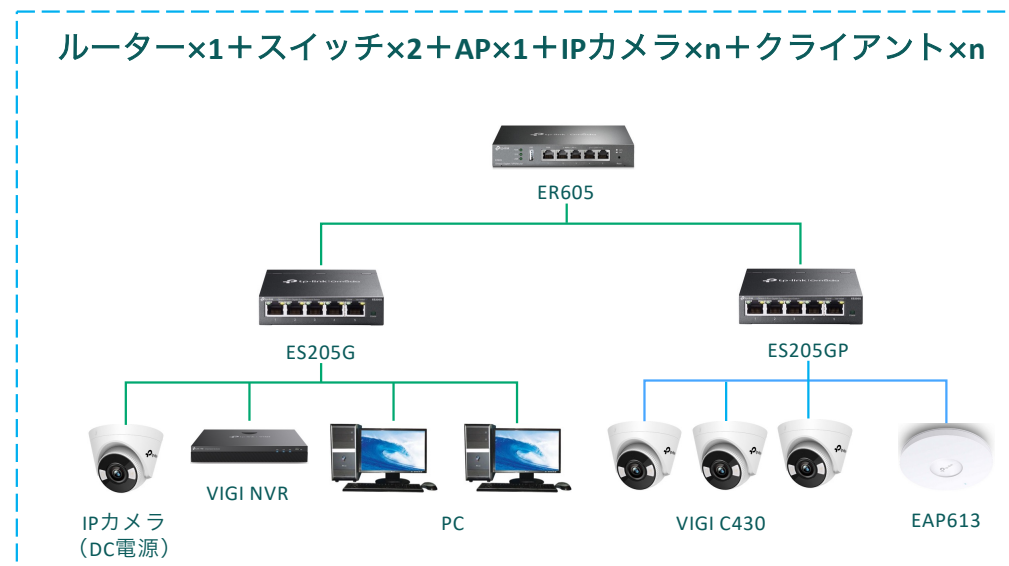
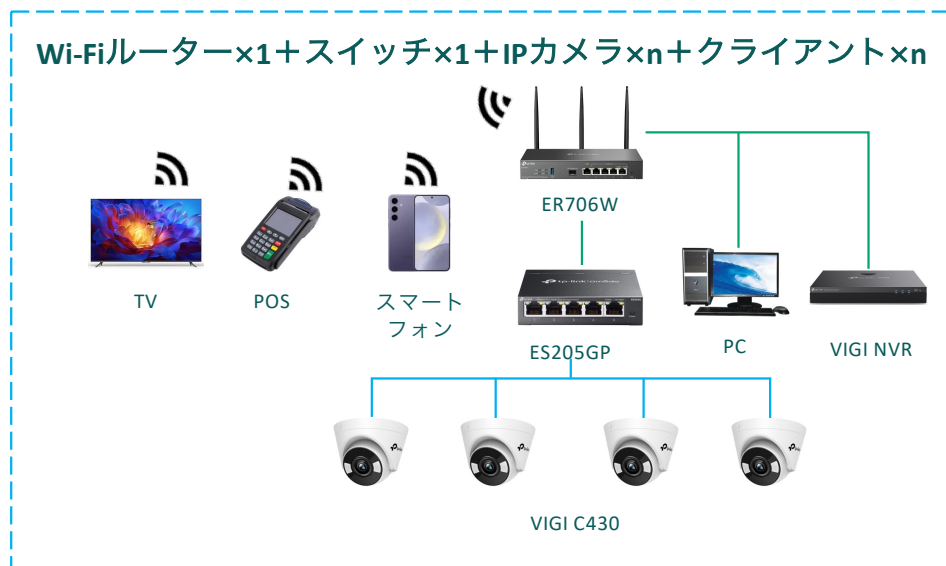


2.2 小規模オフィス/中小規模ビジネス

✓ 代表的なシナリオ：飲食店・小売店（チェーン店等も含む）・オフィス等の中小規模ビジネスシナリオ

一般的なトポロジー - 01

— ケーブル - PoEあり
— ケーブル - PoEなし

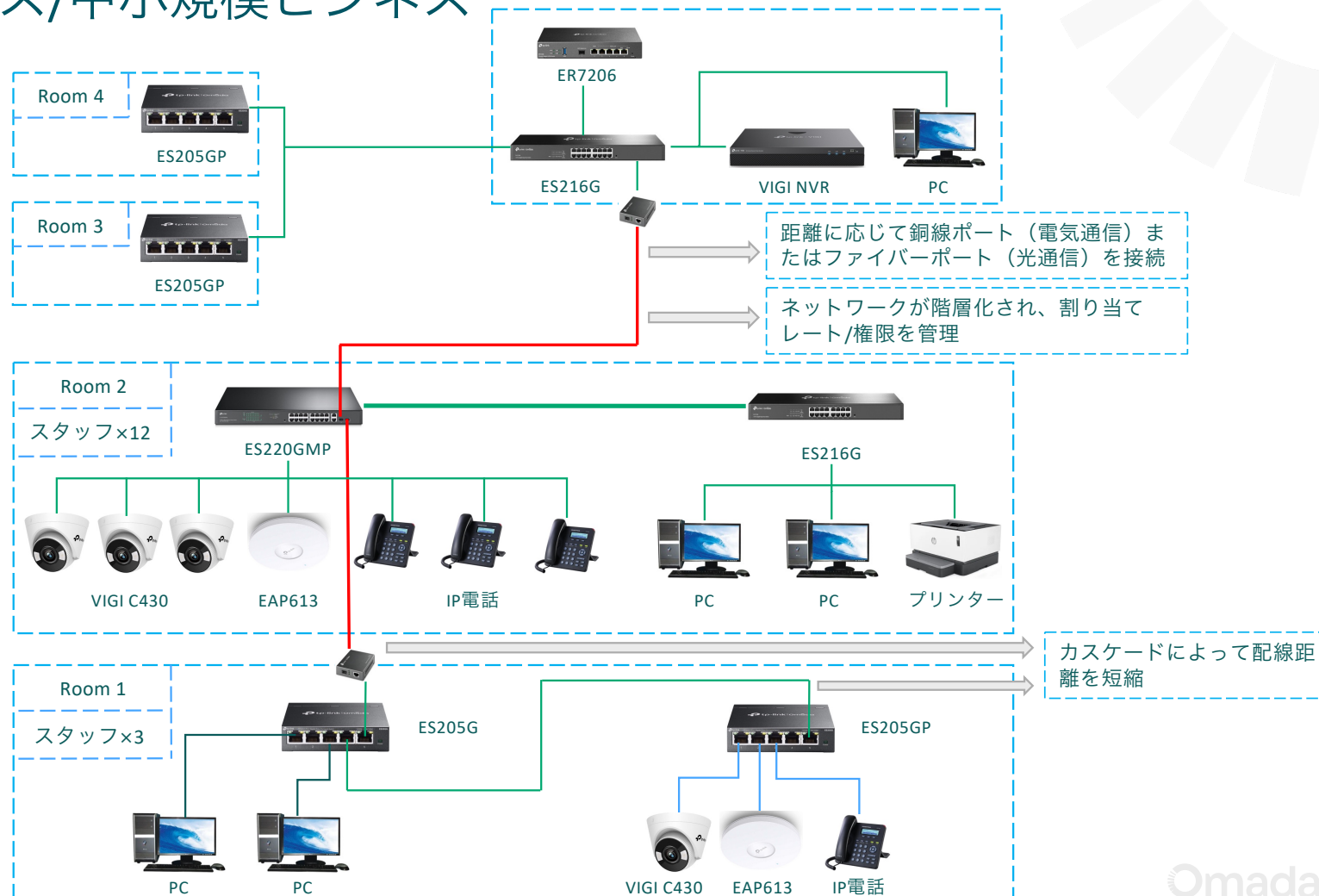


— データ
— データ & 電源

2.2 小規模オフィス/中小規模ビジネス

一般的なトポロジー - 02

- バックボーンライン-光ファイバー
- バックボーンライン-ケーブル
- ケーブル-PoEあり
- ケーブル-PoEなし





Thanks for Watching